



食品ロスをなくすために誕生したスーパーマーケット

食品ロスが引き起こす問題は多岐にわたります。焼却にエネルギーが必要で、大量の二酸化炭素が排出されることを避けられません。経済的損失はいうまでもなく、看過できない実情です。当社では、この問題に真正面から向き合う覚悟で「マルヤス」を創設。賞味期限が切れていても、実はおいしく食べられるレシピを店頭に掲示したり、販売価格を格安にするなどして、売り切ることを目指しています。

また食品の買い取り・再流通も手がけています。賞味期限切迫品、賞味期限が切れているもの、割れたお菓子、ギフト食品や規格外品、防災備蓄食料などを買い取り、当店で販売しています。食品の寄附活動も積極的にを行っています。

これらの活動により、2021年には「気候変動アクション環境大臣表彰」や「食品産業もったいない大賞審査委員長賞」を受賞しました。



事業紹介



株式会社フロムアイコーポレーションが展開する「マルヤス」では、賞味期限切迫品やメーカー過剰在庫品などの訳あり食品を激安で販売しています。開業した2018年時は、賞味期限切れの商品を販売していることに驚かれましたが、現在はその趣旨をご理解いただき多くのお客様にご来店いただいています。

段ボールゴミ分別

段ボールを無料回収してくれる業者さんのいるエリアでは、環境負荷軽減という再利用メリットに鑑み利用させていただいています。これにより処分費用を抑えることができ、その分を商品の販売価格から下げて商品展開をしています。

子ども食堂に食品を寄附

いかにして食品を確保するかが昨今の課題だと同じ、当店は子ども食堂に食品を寄附させていただいています。賞味期限の切れた商品を寄附に使うべきではないという考えもある中、「賞味期限内の商品を数個いただくより、安全性が保たれているのであれば、まだ美味しく食べられる賞味期限の切れている食品を倍の量いただく方がうれしい」と喜ばれ、実践しています。更生支援施設にも寄附させていただいています。

商品を売り切る

訳あり食品がゆえに値下げをしても売れ残る場合がありますが、10円以下までとことん値下げして売売に努め、店からの食品廃棄を徹底的に減らしています。場合によれば、ご自由にどうぞといった形でお持ち帰りいただくこともしています。

食品ロス削減のために

「訳あり食品でも積極的に再流通」

まだ美味しく食べられる食品は
廃棄することなく完売に努めています。

賞味期限が切れている、箱がつぶれてしまった、イベントシーズンが過ぎてしまったなど、いわゆる「訳あり食品」となってしまった商品は、実はまだ美味しく食べられる商品が多々あります。にも関わらず廃棄してしまうのは、あまりにももったいない話です。当店では、これらの商品を再流通させています。販売前にスタッフが味見をして風味など問題がないかチェックし、その上で店頭で並べます。

現在年間1,200トン以上の食品を再流通させることに成功。これにより、食品ロス削減はもちろんのこと、2,600トン以上の温室効果ガス排出量を削減することができました。廃棄された商品を焼却する際に発生する二酸化炭素発生を削減し、地球温暖化対策にも貢献しています。

P.63を
見てね



年間

目指せ!食品ロスゼロ

1,200トン以上の食品を再流通させることができました



株式会社フロムアイコーポレーション マルヤスからのメッセージ

SDGsのめざす17のゴールから、当店では、貧困をなくすこと、飢餓をゼロにする、つくる責任つかう責任、気候変動に具体的な対策をの4つを主たる目標に取り組んでいます。

子ども食堂や更生支援施設への寄附により、だれもが栄養のあるおいしい食事をすることができるよう願っています。また商品は、本来の目的どおりにつかわれることがあるべき姿ですが、残念ながらそれがうまくいかなかったときに廃棄するのはあまりにももったいなく、有効活用すべきという思いから、責任をもって再流通させることを実施しています。プラスチックごみの削減に努めることで、大気をはじめとした環境汚染を防ぐことにも高い意識をもって運営しています。これは「気候変動アクション環境大臣表彰」により、評価されました。

今後もSDGsの取組を続け、食品ロス削減の徹底、それにより地球環境に貢献しつつ消費者の家計を支援するビジネスモデルを展開し、商品を無駄にしないだけでなく、売り手も買い手もお互いうれしい「もったいないの環」を推進していくことを目指していきます。

